

科目名	マクロ経済学基礎				
授業形態	講義	学年	1		
開講時期	2021年度 前期	単位数	2		
担当教員	石光 真				
内容および計画	マクロ経済学基礎・マクロ経済学では、麻生良文『マクロ経済学入門』を用いて、入門段階のマクロ経済学を学ぶ。マクロ経済学基礎では、経済学の基礎を学んだ後、ケインズ派のモデルの前半を学ぶ。サミュエルソンの45度線図と呼ばれる所得・支出モデルは、ケインジアン・ポリシーと呼ばれる景気刺激策が乗数効果という波及効果を通じて景気をよくしていくという理論が展開される。この乗数理論は簡単な数学で説明できるので、最後に計算問題の練習をする。計算問題については、中学1年の式と計算を用いて、一人一人懇切丁寧に指導する。				
1	経済学の基礎（1） 経済循環、機会費用、生産可能性フロンティア、市場の機能				
2	経済学の基礎（2） 生産可能性フロンティア、市場の機能				
3	経済学の基礎（3） 消費者余剰、生産者余剰、市場の失敗				
4	経済学の基礎（4） 市場の失敗				
5	マクロ経済の循環（1） 貯蓄のない経済				
6	マクロ経済の循環（2） 貯蓄のある経済				
7	重要なマクロ変数（1） GDP、中間財の取扱い、グロスとネット				
8	重要なマクロ変数（2） 、国内と国民、実質と名目				
9	重要なマクロ変数（3） フローとストック、物価、実質利子率と名目利子率				
10	重要なマクロ変数（4） 失業率、フィリップス曲線				
11	所得・支出モデル（1） ケインジアンと古典派				
12	所得・支出モデル（2） 所得・支出モデル				
13	所得・支出モデル（3） 乗数効果				
14	所得・支出モデル（4） 計算問題の解き方（1）				
15	所得・支出モデル（5） 計算問題の解き方（2）				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	『マクロ経済学入門』	麻生良文	ミネルヴァ書房	9784623062003	2012

1年間かけて経済学の入門とケインズ経済学をじっくり学ぶ。計算問題もあるが、そこは丁寧に指導するので達成感が味わえる

はずである。教科書は教員から貸与しますので購入不要です。

参考書

成績評価

評価方法

割合(%)

定期試験

90

授業での積極性

10

学習到達目標

福島大学経済経営学類の3年次編入試験合格レベル。

先修条件

実務経験

その他